

## 第6 救急・救助業務

### 1 救急・救助業務実施体制の現況（令和3年4月1日現在）

(1) 消防本部数 11本部（単独4 組合7）

(2) 救急業務実施市町村 35市町村（14市20町1村）

救急隊数 100隊

救急隊員数 1,038人（専任459人，兼任579人）

救急救命士数 468人

救急自動車 122台  
（高規格救急自動車）（122台）

(3) 救助業務実施市町村 35市町村（14市20町1村）

救助隊数 29隊

救助隊員数 358人（専任154人，兼任204人）

救助工作車 22台

## 2 救急業務の実施状況

### (1) 救急出場件数及び搬送人員（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

令和2年中における県内の救急業務の実施状況を見ると、救急出場件数100,737件、搬送人員が90,199人で、出場件数は10.8%の減、搬送人員は11.5%の減となった。これは1日平均276件（前年310件）で約5.2分（前年4.6分）に1件の割合で救急隊が出場し、県民約26人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

表1 救急出場件数及び搬送人員

(各年1月1日～12月31日)

	救急出場 件数(A)	対前年 増加率	搬送人員	対前年 増加率	(A)のう ち 交通事 故に よる件 数(B)	構成比 (B)/(A) ×100	(A)のう ち 急病に よる 件数(C)	構成比 (C)/(A) ×100
平成22年	91,440	9.8%	82,255	8.5%	7,881	8.6%	55,515	60.7%
平成23年	103,694	13.4%	93,925	14.1%	7,877	7.6%	58,794	56.7%
平成24年	98,228	△5.3%	88,079	△6.2%	8,174	8.3%	60,598	61.7%
平成25年	98,694	0.5%	88,987	1.0%	7,957	8.1%	61,212	62.0%
平成26年	101,344	2.7%	90,927	2.2%	7,829	7.7%	63,357	62.5%
平成27年	103,126	1.8%	92,543	1.8%	7,521	7.3%	65,093	63.1%
平成28年	103,755	0.6%	94,288	1.9%	7,107	6.8%	66,604	64.2%
平成29年	106,048	2.2%	96,185	2.0%	7,251	6.8%	68,320	64.4%
平成30年	109,590	3.4%	99,600	3.6%	6,884	6.3%	71,283	65.0%
令和元年	112,997	3.1%	101,893	2.3%	6,181	5.5%	74,614	66.0%
令和2年	100,737	△10.8%	90,199	△11.5%	5,373	5.3%	65,679	65.2%

図1 事故種別救急出場件数

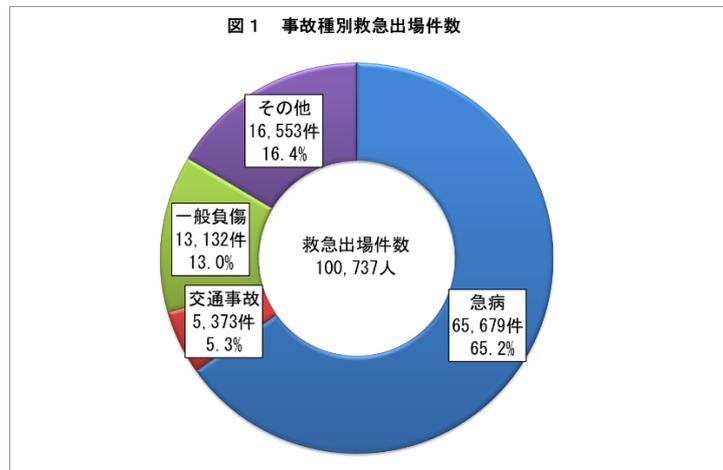
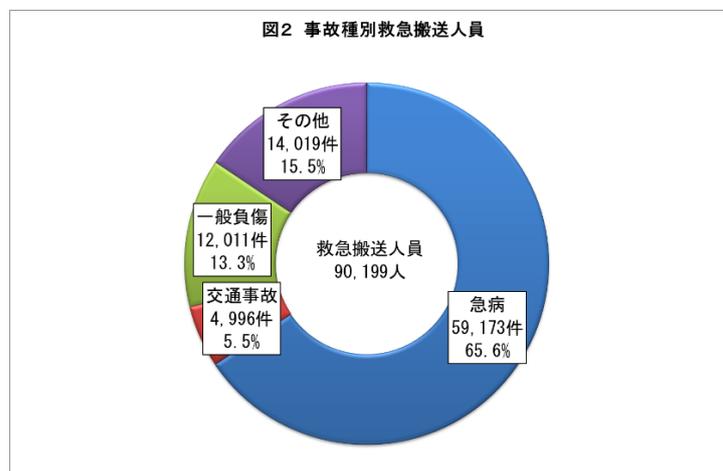


図2 事故種別救急搬送人員



## (2) 医療機関別搬送状況（令和2年）

令和2年中の搬送人員90,199人の99.9%にあたる90,175人が医療機関に搬送されており、その状況は表2のとおりである。（他の24人はその他の場所に搬送された。）開設主体別搬送状況は、国立11.9%、公立30.7%、公的11.7%、私的病院43.6%、私的診療所2.1%となっており、45.7%が私的病院及び診療所に搬送されている。

なお、医療機関に搬送された者の94.3%（85,024人）が救急告示医療機関に搬送されており、その搬送割合をみると、最も高いのは私的病院の44.1%（37,484人）で最も低いのは私的診療所の0.0%（21人）となっている。

また、非告示病院への搬送状況をみると、最も割合の高いのは私的診療所36.8%（1,896人）で最も低いのは国立0.9%（47人）となっている。（表2、図3）

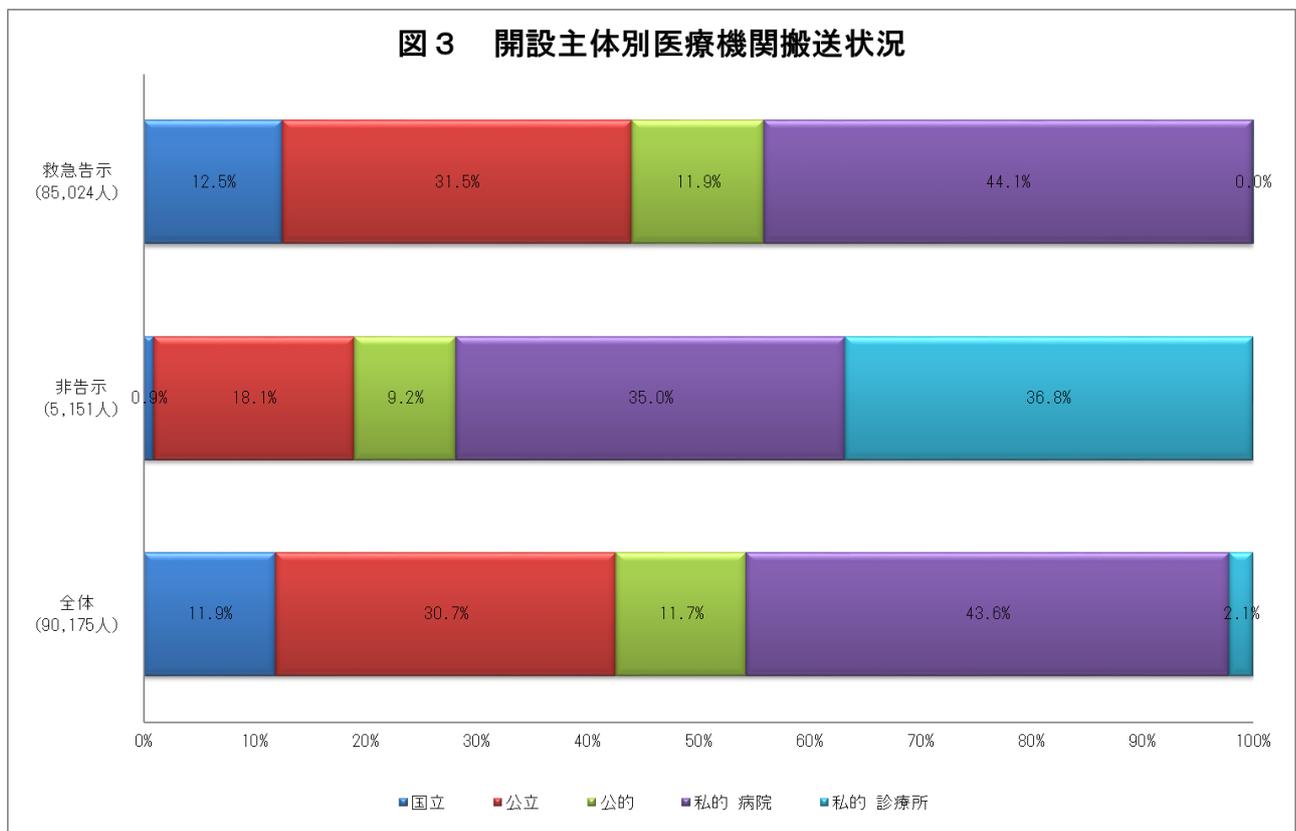
さらに、傷病者の管内外の搬送状況をみると、83.3%がそれぞれの消防本部管内に搬送されており、管外への搬送は16.7%となっている。管外への搬送率では、最も高いのが私的病院への搬送で19.0%となっている。（表2、図4）

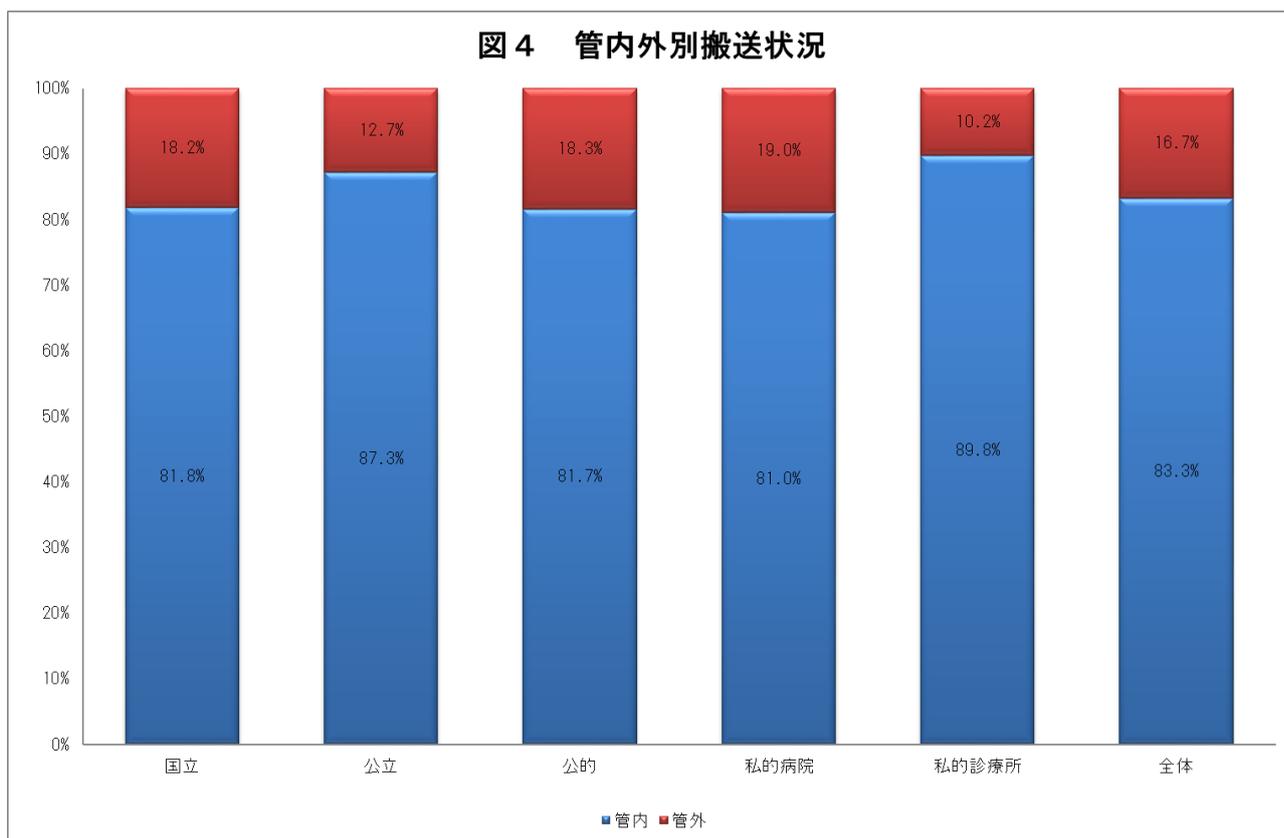
表2 医療機関別搬送状況

（令和2年1月1日から令和2年12月31日まで）

	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所	計	その他の場所	合計
救急告示	10,650	26,763	10,106	37,484	21	85,024		
うち管外搬送	1,931	3,020	1,940	7,065	13	13,969		
非告示	47	932	472	1,804	1,896	5,151		
うち管外搬送	11	508	1	389	182	1,091		
計	10,697	27,695	10,578	39,288	1,917	90,175	24	90,199
うち管外搬送	1,942	3,528	1,941	7,454	195	15,060	3	15,063

図3 開設主体別医療機関搬送状況





**(3) 傷病程度別搬送状況**

令和2年中の搬送人員 90,199 人について事故種別ごとの傷病程度について示したのが表3である。

**表3 傷病程度別搬送状況**

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
<b>急病</b>	1,144	6,223	34,243	17,560	3	59,173
構成比 (%)	1.9%	10.5%	57.9%	29.7%	0.0%	100.0%
<b>交通事故</b>	25	215	1,778	2,977	1	4,996
構成比 (%)	0.5%	4.3%	35.6%	59.6%	0.0%	100.0%
<b>一般負傷</b>	73	1,200	5,424	5,314	0	12,011
構成比 (%)	0.6%	10.0%	45.2%	44.2%	0.0%	100.0%
<b>その他</b>	103	2,762	9,511	1,642	1	14,019
構成比 (%)	0.7%	19.7%	67.8%	11.7%	0.0%	100.0%
<b>計</b>	1,345	10,400	50,956	27,493	5	90,199
構成比 (%)	1.5%	11.5%	56.5%	30.5%	0.0%	100.0%

#### (4) 転送回数別搬送状況

令和2年中の搬送人員 90,199 人について、転送回数別搬送状況を示すのが表4である。これによると、1回以上転送されて収容された傷病者は、全体の0.4%にあたる338人である。

表4 転送回数別搬送状況

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

転送回数	0回	1回	2回	3回	4回以上	転送小計 (A)	合計(B)	転送率
急病	58,959	214	0	0	0	214 63.3%	59,173 65.6%	0.4%
交通事故	4,977	19	0	0	0	19 5.6%	4,996 5.5%	0.4%
一般負傷	11,932	79	0	0	0	79 23.4%	12,011 13.3%	0.7%
その他	13,993	26	0	0	0	26 7.7%	14,019 15.5%	0.2%
計	89,861	338	0	0	0	338 100.0%	90,199 100.0%	0.4%
平成26年	91,908	632	3	0	0	635	92,543	0.7%

(注) 転送率=(A)÷(B)×100(単位:%)

#### (5) 救急出場から医療機関等に傷病者を収容するまでに要した時間別搬送人員数

令和2年中の搬送人員 90,199 人について、救急隊が救急出場から医療機関等に傷病者を収容するのに要した時間別の搬送人員は、表5のとおりである。これによると、1.3%にあたる1,171人が20分未満で、また、16.3%にあたる14,741人が20分以上30分未満で収容されており、救急隊の覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでの平均所要時間は、43.0分となっている。

表5 救急出場から医療機関等に収容するまでに要した時間別搬送人員数

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急病	3	430	8,599	42,563	7,390	188	59,173	43.4分
割合	0.0%	0.7%	14.5%	71.9%	12.5%	0.3%	100.0%	
交通事故	0	30	548	3,541	863	14	4,996	46.3分
割合	0.0%	0.6%	11.0%	70.9%	17.3%	0.3%	100.0%	
一般負傷	0	65	1,515	8,683	1700	48	12,011	44.9分
割合	0.0%	0.5%	12.6%	72.3%	14.2%	0.4%	100.0%	
その他	8	635	4,079	7,793	1,436	68	14,019	38.8分
割合	0.1%	4.5%	29.1%	55.6%	10.2%	0.5%	100.0%	
計	11	1,160	14,741	62,580	11,389	318	90,199	43.0分
割合	0.0%	1.3%	16.3%	69.4%	12.6%	0.4%	100.0%	

## (6) 救急隊員の行った応急処置の状況

令和2年中の搬送人員 90,199 人のうち、応急処置を行った救急患者は、全体の 99.9%にあたる 90,176 人であり、その実施状況を示したのが表 6 である。

応急処置の内容を事故種別ごとにみると、急病及びその他については酸素吸入及び保温が多く、交通事故及び一般負傷については固定、被覆が多くなっている。

### 表 6 救急隊員が行った応急処置の状況

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員	59,169	4,995	12,004	14,008	90,176
事故種別構成比	65.6%	5.5%	13.3%	15.5%	100.0%
止血	428	348	1,443	347	2,566
構成比	16.7%	13.6%	56.2%	13.5%	100.0%
固定	312	2,068	1,399	540	4,319
構成比	7.2%	47.9%	32.4%	12.5%	100.0%
人工呼吸	330	5	24	44	403
構成比	81.9%	1.2%	6.0%	10.9%	100.0%
心臓マッサージ	171	3	17	13	204
構成比	83.8%	1.5%	8.3%	1.0%	100.0%
心肺蘇生	1,876	39	164	155	2,234
構成比	84.0%	1.7%	7.3%	6.9%	100.0%
酸素吸入	10,905	254	650	3,121	14,930
構成比	73.0%	1.7%	4.4%	20.9%	100.0%
気道確保	2,637	54	227	244	3,162
構成比	83.4%	1.7%	7.2%	7.7%	100.0%
保温	5,714	388	1006	1,393	8,501
構成比	67.2%	4.6%	11.8%	16.4%	100.0%
被覆	380	889	2,676	582	4,527
構成比	8.4%	19.6%	59.1%	12.9%	100.0%
在宅療法継続	285	0	22	20	327
構成比	87.2%	0.0%	6.7%	6.1%	100.0%
ショックパンプによる 血圧保持	0	0	0	0	0
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
除細動	274	4	7	14	299
構成比	91.6%	1.3%	2.3%	4.7%	100.0%
静脈路確保	1276	43	110	90	1519
構成比	84.0%	2.8%	7.2%	5.9%	100.0%
薬剤投与	461	11	48	24	544
構成比	84.7%	2.0%	8.8%	4.4%	100.0%
エピペン投与	5	0	2	1	8
構成比	62.5%	0.0%	25.0%	12.5%	100.0%
血糖測定	860	12	13	19	904
構成比	95.1%	1.3%	1.4%	2.1%	100.0%
ブドウ糖投与	156	0	0	2	158
構成比	98.7%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
その他	212,655	16,291	37,920	46,098	312,964
構成比	67.9%	5.2%	12.1%	14.7%	100.0%
応急処置計	238,725	20,409	45,728	52,707	357,569
構成比	66.8%	5.7%	12.8%	14.7%	100.0%

### 3 高速自動車国道における救急業務の実施状況

本県における高速自動車国道（東北自動車道・山形自動車道・常磐自動車道）の供用区間及びそれに伴う救急業務を担当している消防機関は、表7、表8、表9のとおりである。なお、これらの消防機関は救急業務について相互に応援を行っている。

また、高速自動車国道における令和2年中の搬送人員90,199人の本県内の救急出場及び搬送人員は、表10のとおりである。

表7 東北自動車道供用区間及び救急業務担当消防機関

(令和3年4月1日現在)

区間	通過市町村名	区間距離 (キロメートル)	救急業務実施団体（上り）	救急業務実施団体（下り）
国見～白石	白石市	23.5	仙南地域広域行政事務組合	伊達地方消防組合（福島県）
白石～村田	白石市、蔵王町、村田町	12.3	仙南地域広域行政事務組合	仙南地域広域行政事務組合
村田～仙台南	村田町、名取市、仙台市	15	仙台市	仙南地域広域行政事務組合
仙台南～仙台宮城	仙台市	5.6	仙台市	仙台市
仙台宮城～泉スマートIC	仙台市	10.2	仙台市	仙台市
泉スマートIC～泉	仙台市	3.5	仙台市	仙台市
泉～大和	仙台市、富谷町、大和町	14.5	黒川地域行政事務組合	仙台市
大和～大衡	大和町、大衡村	3.2	黒川地域行政事務組合	黒川地域行政事務組合
大衡～三本木スマートIC	大衡村、大崎市	6.5	大崎地域広域行政事務組合	黒川地域行政事務組合
三本木スマートIC～古川	大崎市	8.3	大崎地域広域行政事務組合	大崎地域広域行政事務組合
古川～長者原スマートIC	大崎市	5.9	大崎地域広域行政事務組合	大崎地域広域行政事務組合
長者原スマートIC～築館	大崎市、栗原市	10.2	栗原市	大崎地域広域行政事務組合
築館～若柳金成	栗原市	11.8	栗原市	栗原市
若柳金成～一関	栗原市	17.3	岩手県一関市	栗原市
国見～一関（インターチェンジ間距離合計）		144.3	県境間距離	131.9キロメートル

表8 山形自動車道供用区間及び救急業務担当消防機関

(令和3年4月1日現在)

区間	通過市町村名	区間距離 (キロメートル)	救急業務実施団体（上り）	救急業務実施団体（下り）
村田ジャンクション～宮城川崎	村田町、川崎町	10.4	仙南地域広域行政事務組合	仙南地域広域行政事務組合
宮城川崎～笹谷	川崎町	11.9	仙南地域広域行政事務組合	仙南地域広域行政事務組合
笹谷～関沢	川崎町	5.8	山形市	仙南地域広域行政事務組合
関沢～山形蔵王		7.4	山形市	山形市
村田ジャンクション～笹谷（インターチェンジ間距離合計）		35.6	村田ジャンクション～県境間距離	26.2キロメートル

表9 常磐自動車道供用区間及び救急業務担当消防機関

(令和3年4月1日現在)

区間	通過市町村名	区間距離 (キロメートル)	救急業務実施団体（上り）	救急業務実施団体（下り）
相馬～新地	相馬市、新地町	8.5	亶理地区行政事務組合	相馬市
新地～山元南スマートIC	新地町、山元町	6.5	亶理地区行政事務組合	相馬市
山元南スマートIC～山元	山元町	8.3	亶理地区行政事務組合	亶理地区行政事務組合
山元～鳥の海PAスマートIC	山元町、亶理町	6.1	亶理地区行政事務組合	亶理地区行政事務組合
鳥の海PAスマートIC～亶理	亶理町	5.4	亶理地区行政事務組合	亶理地区行政事務組合

表10 高速自動車国道における救急出場及び搬送人員

(令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

団体名	自動車道名称	亶理地区行政事務組合	仙南地域広域行政事務組合	仙台市	黒川地域行政事務組合	大崎地域広域行政事務組合	栗原市	計	令和	平成	平成	平成	平成	平成	平成
									元年	30年	29年	28年	27年	26年	25年
救急出場件数	東北道	-	33	36	6	18	10	103	144	158	186	147	224	182	211
	山形道	-	6	-	-	-	-	6	14	12	24	23	18	25	27
	常磐道	5	-	-	-	-	-	5	6	13	18	13	6	2	1
搬送人員数	東北道	-	34	25	4	21	9	93	114	137	16	129	180	154	184
	山形道	-	3	-	-	-	-	3	15	11	21	19	13	20	24
	常磐道	5	-	-	-	-	-	5	6	17	11	7	3	1	1

## 4 救急医療体制

救急患者を受け入れる救急病院及び診療所の告示状況は表 11 のとおりであり、地域別には表 12 のとおりである。

本県における救急告示医療機関は、73 ヲ所であり、救急告示医療機関以外をも含めた体制をとっている。

表11 救急医療機関の告示状況

(令和3年4月1日現在)

開設者	国立	公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計
令和3年4月1日現在	3	27	6	34	3	73
令和2年4月1日現在	3	27	7	34	3	74
平成31年4月1日現在	3	25	7	34	4	73
平成30年4月1日現在	3	26	7	34	4	74
平成29年4月1日現在	3	27	6	33	4	73
平成28年4月1日現在	3	26	6	31	3	69
平成27年4月1日現在	4	25	5	31	3	68
平成26年4月1日現在	4	24	6	29	3	66
平成25年4月1日現在	4	24	6	29	3	66

表12 地域別（消防本部別）救急医療機関告示状況

(令和3年4月1日現在)

救急担当機関名	国立	公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計
仙台市	2	1	5	18	1	27
名取市	0	2	0	0	0	2
登米市	0	3	0	0	0	3
栗原市	0	3	0	0	0	3
黒川地区行政事務組合	0	1	0	0	0	1
石巻地区広域行政事務組合	0	2	1	3	0	6
塩釜地区消防事務組合	0	1	0	5	0	6
亘理地区行政事務組合	1	0	0	1	1	3
仙南地域広域行政事務組合	0	5	0	2	0	7
大崎地域広域行政事務組合	0	7	0	4	1	12
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	0	2	0	1	0	3
計	3	27	6	34	3	73

## 5 救急業務高度化の現況

### (1) 救急隊員・救急救命士の養成及び救急用資機材等の整備

救急業務を担う救急隊員の養成教育を、新任消防職員及び現任消防職員を対象として宮城県消防学校で行っている。救急救命士を養成するために設立された「一般財団法人救急振興財団」に対しては、他の都道府県と共に運営費を負担している。

また、救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に伴い、高度な応急処置の実施に必要な救急用資機材等の計画的な整備を進めなければならない。このため、「緊急消防援助隊設備整備費補助金」(国庫補助)により、高規格救急自動車を含む救急自動車や高度救命用資機材の整備の促進を図っている。

### (2) メディカルコントロール体制の構築

メディカルコントロール体制とは、医師が救急救命士らに事前及び事後の指示・指導を行うことにより、救急現場及び搬送途上における傷病者への応急処置の品質管理と質的向上を図る体制である。

本県では、平成14年10月に「宮城県メディカルコントロール協議会」を、平成15年3月に県内9地域の「地域メディカルコントロール協議会」をそれぞれ設置した。各地域では、医師による救急活動の事後検証や、病院実習、現場の救急救命士らへの指示・助言を通して、救急救命士や救急隊員の資質向上への取り組みが行われている。

表13 地域メディカルコントロール協議会 区域割り及び関係機関

区域名	区域割り		関係機関		
	医療圏	都市名	医師会	消防本部	行政機関
仙南	仙南	白石市、角田市、刈田郡、柴田郡、伊具郡	白石市、角田市、柴田郡	仙南地域	大河原地方振興事務所 仙南保健所
岩沼	仙台	名取市、岩沼市、亶理郡	名取・岩沼 亶理郡	名取市 亶理地区	仙台地方振興事務所 塩釜保健所
仙台・黒川		仙台市、富谷市、黒川郡	仙台市 富谷市 黒川郡	仙台市 黒川地域	県消防課 県医療整備課 仙台市健康福祉局
塩釜		塩竈市、多賀城市、宮城郡	塩釜	塩釜地区	仙台地方振興事務所 塩釜保健所
大崎	大崎	大崎市、加美郡、遠田郡	大崎市 加美郡 遠田郡	大崎地域	北部地方振興事務所 大崎保健所
栗原	栗原	栗原市	栗原市	栗原市	北部地方振興事務所栗原地域事務所 栗原保健所
登米	登米	登米市	登米市	登米市	東部地方振興事務所登米地域事務所 登米保健所
石巻	石巻	石巻市、東松島市、牡鹿郡	石巻市 桃生郡	石巻地区	東部地方振興事務所 石巻保健所
気仙沼	気仙沼	気仙沼市、本吉郡	気仙沼市	気仙沼・本吉地域	気仙沼地方振興事務所 気仙沼保健所

### (3) 救急救命士の処置範囲拡大

平成15年4月から除細動の実施に際し、医師の具体的指示は不要となり、平成16年7月からは医師の具体的指示下における救急救命士による気管挿管の実施が可能となった。また、既に救急救命士の資格を有する者に対しては、宮城県消防学校における講習と各地域メディカルコント

ロール協議会が指定した医療機関における実習を修了した者に対し、宮城県メディカルコントロール協議会長が必要な知識・技能を修得した者に認定証を交付している。県内においては、令和2年度までに、491人の救急救命士が認定を受けている。

また、平成23年8月からは、上記気管挿管の認定を受けている救急救命士が追加の実習を修了することで、ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管の実施が可能となり、当県においては令和2年4月1日から運用を開始。令和2年度末までに2人の救急救命士が認定を受けている。

救急救命士による薬剤の投与については、平成18年4月から医師の具体的指示下における救急救命による薬剤（アドレナリン）投与の実施が認められた。既に救急救命士の資格を有する者に対しては、（一財）救急振興財団、消防大学校、宮城県消防学校における講習と県及び地域メディカルコントロール協議会が指定した医療機関における実習を修了した者に対し、宮城県メディカルコントロール協議会長が必要な知識・技能を修得した者に認定証を交付している。県内においては、令和2年度までに、671人の救急救命士が認定を受けている。

平成26年4月からは、医師の具体的指示下における心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が認められた。既に救急救命士の資格を有し薬剤（アドレナリン）投与認定を受けた者に対して、（一財）救急振興財団及び宮城県消防学校における講習を修了した者に対し、宮城県メディカルコントロール協議会長が必要な知識・技能を修得した者に認定証を交付している。県内においては、令和2年度までに、568人の救急救命士が認定を受けている。

表14 消防本部別事故種別救急出場件数

事故種別救急出場件数 (令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等	その他
仙台市	48,649	180	6	9	2,537	362	165	6,560	206	599	31,806	4,837	569	35	778
名取市	3,067	4	1	9	238	34	18	380	13	38	1,987	328	0	0	17
登米市	3,199	12	0	3	189	35	5	409	6	44	2,070	406	0	0	20
栗原市	3,268	20	0	2	143	33	4	457	4	24	2,071	505	0	0	5
黒川	3,421	25	0	1	236	71	20	473	13	33	2,086	445	0	0	18
石巻	7,990	29	0	12	386	83	37	923	41	79	5,388	978	1	0	33
塩釜	8,383	24	0	7	375	47	35	1,120	26	75	5,790	876	1	0	7
あぶくま	4,017	4	0	4	255	53	8	494	13	43	2,496	633	2	0	12
仙南	7,244	43	0	8	433	64	43	927	21	75	4,616	994	1	6	13
大崎	8,422	47	1	6	425	103	33	952	23	84	5,343	1,260	0	23	122
気仙沼	3,077	30	0	7	156	55	10	437	11	43	2,026	297	0	0	5
合計	100,737	418	8	68	5,373	940	378	13,132	377	1,137	65,679	11,559	574	64	1,030

表15 消防本部別事故種別搬送人員数

事故種別搬送人員数 (令和2年1月1日から令和2年12月31日まで)

	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
仙台市	42,074	26	6	4	2,281	343	164	5,892	146	422	27,972	4,818
名取市	2,864	3	0	3	224	34	18	360	11	30	1,854	327
登米市	2,837	0	0	1	140	33	5	367	3	32	1,851	405
栗原市	3,122	9	0	1	147	33	4	436	3	16	1,969	504
黒川	3,216	4	0	0	233	71	20	443	12	22	1,968	443
石巻	7,479	9	0	6	382	79	45	874	37	50	5,018	979
塩釜	8,048	15	0	6	382	46	35	1,094	25	55	5,515	875
あぶくま	3,702	2	0	2	244	54	8	443	11	25	2,282	631
仙南	6,351	5	0	0	374	63	43	820	17	55	3,983	991
大崎	7,773	5	1	3	452	101	33	884	17	50	4,968	1,259
気仙沼	2,733	6	0	4	137	52	10	398	9	29	1,793	295
合計	90,199	84	7	30	4,996	909	385	12,011	291	786	59,173	11,527

## 6 救助活動の実施状況

令和元年～令和2年中の救助活動状況は、表16のとおりであり出動件数1,140件、活動件数680件となっている。

表16 救助活動実施状況

(各年1月1日から12月31日まで)

		出動件数	活動件数	活動人員	うち救助隊員	救助人員
令和2年	火災	71	71	976	530	24
	交通事故	337	189	2132	752	216
	水難事故	58	44	531	216	45
	風水害等自然災害	1	1	3	0	1
	機械による事故	29	19	213	76	19
	建物等による事故	249	192	1575	727	166
	ガス及び酸欠事故	29	14	160	86	8
	破裂事故	0	0	0	0	0
	その他の事故	366	150	1628	698	127
計	1140	680	7218	3085	606	
令和元年		1433	883	5439	2389	1082
平成30年		1190	869	3546	1601	646
平成29年		1115	668	6538	2790	624
平成28年		1063	636	6422	3019	576
平成27年		1242	793	7756	3860	892
平成26年		1093	702	7001	3452	632
平成25年		1076	619	5918	2820	610
平成24年		1023	616	5930	3059	565